



松戸保健所感染症情報



2016年11月

(一般版) (2016年11月10日配信)

ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が急増！～保育所や小学校で集団発生～

【発生状況】2016年44週の千葉県全体の定点あたり報告数は43週の4.73から6.73に増加。特に報告が多い保健所は、船橋市(14.09)、柏市(10.44)、市川(8.25)、**松戸も(9.5)と多い状況**です。流山市内の幼稚園で集団発生があり、10月31日にプレス発表となりました。

◇ノロウイルス感染症予防のための情報提供について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2016/norosyudan20161031.html>

表 平成28年度松戸健康福祉センター管内 感染性胃腸炎集団発生施設報告数(平成28年10月～11月10日現在)

市町村名	乳幼児施設(保育所・幼稚園等)	高齢者施設	小学校	中学校	高校
松戸市	5	1	0	0	0
流山市	0	0	3	0	0
我孫子市	0	0	0	0	0



【感染経路】病原体が、**手指や食品等を介して経口感染**します。ノロウイルスは乾燥すると空気感染することもあります。

【症状】吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度な発熱等です。乳幼児や高齢者は重症化することがあり注意が必要です。

【予防方法】**食事の前、トイレ使用后、下痢や嘔吐等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後は、必ず石鹸と流水による手洗いを徹底**しましょう。吐物や便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに**次亜塩素酸ナトリウム**で消毒し、処理後はウイルスが屋外に出て行くよう空気の流れに注意しながら**十分に換気**を行うことが重要です。高齢者施設・保育施設・障害者福祉施設・学校等においては、感染症が持ち込まれないよう対策を図り、利用者や職員の健康観察を行い、発症者の早期発見に努めてください。また、感染症対策マニュアルを確認し、**オムツ交換や嘔吐時の対応について、職員全員に周知**対応できるよう備えてください。

【消毒液の作り方】☆市販の塩素系消毒薬の原液濃度は約5%ですが、異なる場合もあるので、濃度を確認して使用してください

消毒対象	必要な濃度	原液の濃度	希釈倍率	1ℓの水に加える消毒液(原液)の量
便や吐物が付着した床やオムツ等	1000ppm(0.1%)	5%	50倍	20ml
トイレの便座やドアノブ、床、衣服、リネン類等	200ppm(0.02%)	5%	250倍	4ml

◇「ノロウイルスに関するQ&A」(厚生労働省) http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

インフルエンザ～千葉県内ではインフルエンザA型が流行しています～

【発生状況】千葉県の2016年44週の千葉県全体の定点あたり報告数は、43週の0.45から増加し0.54でした。保健所別では、野田(1.57)、市川(1.16)で多い状況です。**松戸は(1.04)で県全体より高い状況**です。

【症状】インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。乳幼児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力が低下している方は肺炎を伴う等、重症になることがあります。

【感染経路】主な感染経路はくしゃみ、咳等から発生する飛沫による感染(飛沫感染)。他に飛沫の付着物から手指を介した接触感染。

【予防方法】

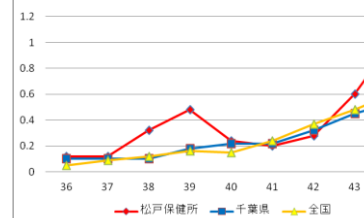
- ①流行前のワクチン接種、②咳エチケット、③こまめな手洗いとうがい(特に外出後)、④適度な湿度の保持、⑤十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、⑥繁華街への外出を避ける

【インフルエンザ症状が出たら】

早めに医療機関を受診し、人との接触は避けましょう。休養・睡眠・水分を十分にとりましょう。咳やくしゃみ等の症状のある時は、不織布製マスクを着用しましょう。

◇インフルエンザQ&A(厚生労働省) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

インフルエンザ定点あたり報告数(2016年36週～43週)



12月1日は「世界エイズデー」～千葉県は報告数全国6位～

2015年1年間における新規HIV感染者報告数は1,006件(過去8位)、感染に気づかずにエイズを発症して報告された新規エイズ患者報告数は428件(過去8位)でした。診断時に既にエイズを発症している割合が千葉県は40.7%で、全国水準(29.8%)よりも高い状況です。

表 平成27年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数の状況

内訳	千葉県(人)	全国(人)	状況
HIV感染者	32	1006	20～30歳代男性が多い
AIDS患者	22	428	40歳以上の男性が多い

千葉県では、11月27日(日)には浦安市民プラザ Weve101で、**平成29年1月8日(日)には松戸健康福祉センターでHIV休日検査を実施**します。

- ◇休日街頭HIV検査について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html> ≡詳細はコチラ
- ◇HIV検査相談マップ <http://www.hivkensa.com/>
- ◇世界エイズデー(APIネット) <http://api-net.fap.or.jp/event/HIVsWeek/special2016/WorldAidsDay2016.html>
- ◇STOP AIDS No.80(千葉県・平成28年10月発行) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/documents/stopaids80.pdf>

結核対策～定期的健康診断実施報告書・発生届～

感染症法の規定により、結核定期健康診断の実施及び報告が義務づけられています。結核定期健康診断報告書を保健所へFAXを。(郵送可) また、結核と診断した場合、松戸市・流山市・我孫子市に所在する病院については、直ちに松戸保健所へ連絡の上、発生届を提出ください。

◇結核関係様式 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/tetsuzuki/kekkaku-shitei.html>

千葉県感染症情報(レプトスピラ症)

千葉県では、2003年45週から2016年43週に8例の届出がありました。2016年は3例の報告。例年より届出数が多いです。

感染経路	ネズミやアライグマ等のげっ歯類の保菌動物の尿と直接的な接触や、尿に汚染された土壌からの経皮感染。農作業や川や滝でレクリエーション。台風後の大雨で汚染された河川からの感染。
症状	潜伏期間5～14日。約6割が無症候。発症すると、発熱、寒寒、頭痛、筋肉痛、結膜充血。重症化すると黄疸や腎不全。

◇レプトスピラ症(国立感染症研究所) <http://www.happi.niid.go.jp/leptospirosis/m/leptospirosis/leptpc/0518-430.html>

感染症発生状況(10月分)…管内医療機関 発生届全数

2類感染症 結核 7件 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件
 4類感染症 レジオネラ症 2件
 5類感染症 梅毒 6件、侵襲性肺炎球菌感染症各3件、侵襲性インフルエンザ菌感染症、急性脳炎、後天性免疫不全症候群、カルバペネム耐性腸内細菌感染症、播種性クリプトコックス症 各1件 **※梅毒が増加**

松戸保健所管内の結核新規登録者数(10月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性・その他		
松戸市	1	4	1	2
流山市	0	0	0	1
我孫子市	0	0	0	0
計	1	4	1	3

松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

